



45000-XKPE-K0S0/K1S0

FD2 ADVANCED COMPLETE BRAKE SYSTEM

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用される前に必ず本書をお読み頂き、本製品の内容及び注意点等をご理解の上、正しく使用下さい。
当製品取付け後は本書を必ずお手元に保管して下さい。
※本書の内容は予告なく変更する場合があります、予めご了承下さい。

⚠ 使用上のご注意

- ・ブレーキは重要保安部品です。交換作業はホンダディーラーおよび認証工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
※本書の内容は自動車整備士および整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験がない方のみでの組付け作業はケガや事故または走行中の車両トラブル等を招くおそれが有り、大変危険ですので絶対に行わないで下さい。
- ・作業前に本書をよくお読み頂き、部品番号および適合車種と、内容部品の状態を確認して下さい。万が一問題が発生した場合は取付けを行わず、当社にご連絡下さい。
- ・取付けを行う際は関連部品を点検し、異常があれば交換または修理を行った後、サービスマニュアルに従って作業して下さい。
- ・本製品の加工・誤使用による不具合、事故等について当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・交換直後はパッドとローターの間に馴染みが出ていない為、一般的に若干制動力が低下します。馴染みがでるまでは十分な制動距離を確保して下さい。
- ・本製品は一般的な純正ブレーキパッドに対して制動性能重視の為、ブレーキノイズ（鳴き）、ブレーキダストおよび耐摩耗性能に関して劣る場合があります。
- ・ブレーキパッドは消耗部品です。限度を超えたブレーキパッドを使用しての走行は危険ですので絶対に止めて下さい。定期的に点検し使用限度より早めの交換を心掛けて下さい。**（本製品の使用限度：摩擦材厚み 2.0 mmまで）**
- ・ブレーキパッド TYPE-S には鳴き抑制の為のシムセットが付属していますが、TYPE-C とはブレーキパッド厚みおよびバックプレート形状が異なる為、装着できません。
- ・本製品はブレーキローターに対しスリット加工が施されている為、ブレーキペダルに振動が伝わる場合がありますが、商品性能上問題ありません。
- ・ブレーキローターは消耗部品です。スリット形状が確認できなくなったら磨耗限度に達しているので、必ず交換して下さい。**（本製品の磨耗限度：片側1mmまで）**
- ・スポーツ走行等で摺動面上に 5 mm 以上のクラックが入ってしまった場合は危険ですので、必ずローターを左右同時に交換して下さい。
- ・装着後はブレーキローターおよび関連部品の磨耗やその他異常がないか定期的に点検して下さい。万が一異常が認められた場合は直ちに修理または交換を行って下さい。
- ・本製品のブレーキキャリパーは耐ブレーキフルード性塗料で塗装されていますが、ブレーキ作動や周辺部品の温度上昇により、高温時に塗装が侵される場合があります。その為、エア抜き作業時等の後にブリーダーキャップやブリーダーボルトに残存したブレーキフルードを清掃しボディに付着しない様注意して下さい。
- ・本製品の洗浄にあたり高压洗車機等の使用は避けて下さい、印刷されたロゴが剥がれる場合があります。

本製品の特性

- 専用開発の高剛性モノブロックキャリパーと専用大径逆ベンチローター(φ340)をセットで開発する事により、総合的なブレーキシステムの性能を向上。
- 前後のブレーキパッドをセットにする事で大型のブレーキシステムに変更した際に生じやすい前後バランスの変化を抑制。使用用途によって **TYPE-S** および **TYPE-C** をそれぞれ設定。
- 各種耐久テストを行い、専用ブレーキパイプや周辺部品を熱害から保護するスプラッシュガードを付属する事により高い信頼性と純正部品同様の取付環境を実現。

作業上のご注意

- ・商品開梱後は直ちに内容物の数、破損などが無いか状態を確認して下さい。
- ・取付け前に取付け車両の型式の確認を行ってください。本製品は車種ごとにテストを行って適合を設定しておりますので、適合車種以外への取付けは行わないで下さい。
【本製品の適合車種】 シビック タイプ R(FD2)
- ・純正パーツの取付け・取外しは**本田技研工業㈱発行のサービスマニュアル**に従って行なって下さい。
- ・ブレーキパッドは衝撃に弱い部品です、取外し時に落下させる等強い衝撃を与えない様注意して下さい。



- ・交換作業は車両が十分に冷えた状態で行ってください、走行直後はブレーキが非常に高温になっており触れると火傷の危険があります。
- ・車両を持ち上げる際は車両毎の指定位置でジャッキアップまたはリフトアップし、ジャッキアップ後は必ずリジトラックを使用し、短時間の作業でもジャッキのみの作業は絶対にしないで下さい。
- ・本製品は左右でスリットの方向指示がありますので製品のスタンプに従って正しい位置に取付けて下さい。
- ・交換作業の際は保護手袋をして下さい。パッドの摩擦材に含まれる成分により手に怪我を負う危険があります。
- ・交換作業の際はマスクをすることをお勧めします。パッドからの磨耗粉の飛散により、体内へ侵入するおそれがあるので、十分な注意を払って作業を行ってください。
- ・取付けの際、ブレーキパッドおよびブレーキローターの摺動面に油脂類等が付着しない様にして下さい。ブレーキ性能を著しく低下させ大変危険です。油脂類が付着した場合には必ずブレーキクリーナー等で洗浄して下さい。

商品についてご質問、ご不明な点等ございましたら下記にお問い合わせ下さい。

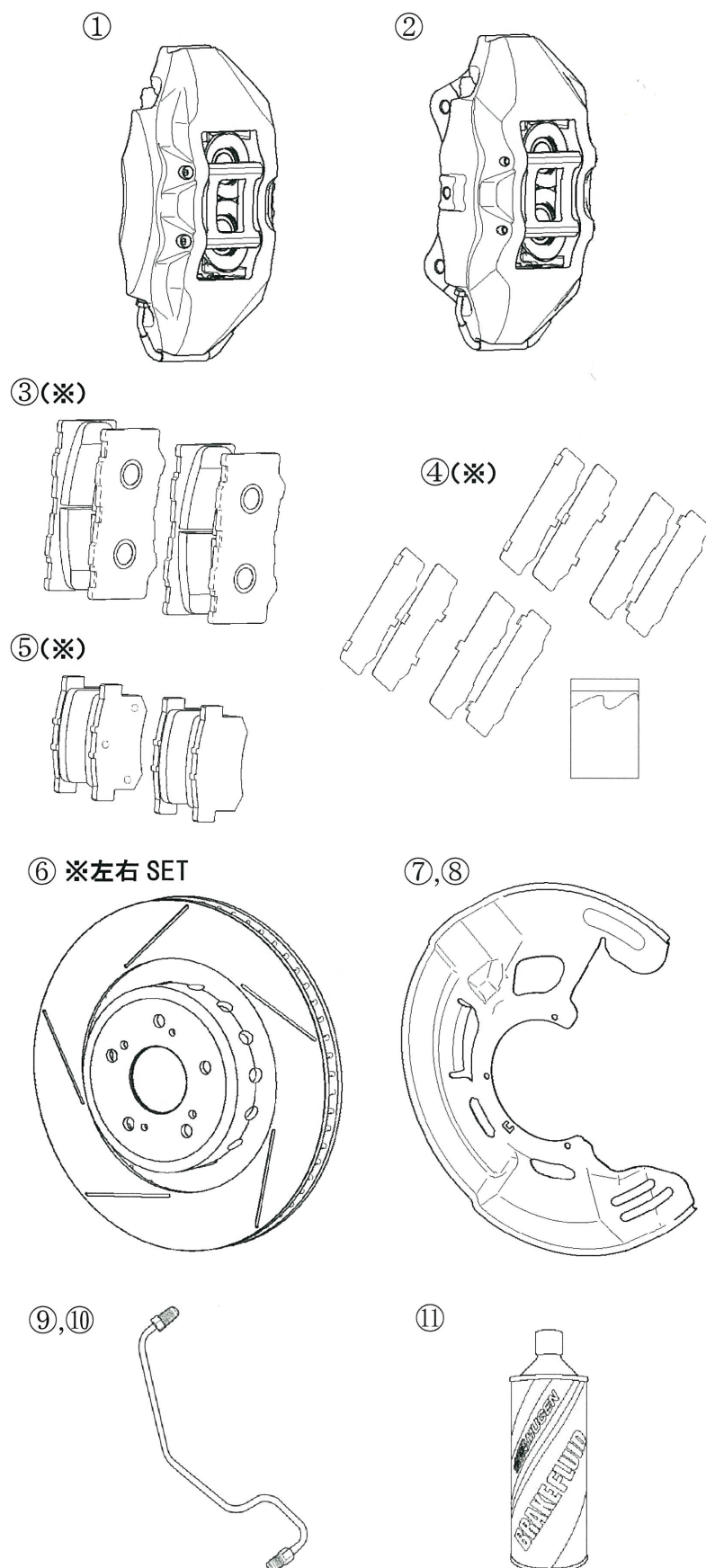
〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町 2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 営業課 【営業時間 9:00~18:00】

TEL: 048-462-3131

FAX: 048-462-3121

【構成部品内容】



NO.	構成品番	QTY
	品 名	
①	45018-XXD-F000	1
	CALIPER SUB ASSY,FR R	
②	45019-XXD-F000	1
	CALIPER SUB ASSY,FR L	
③	45022-XXD-K000	(1)
	PAD SET,FRONT(TYPE-S)	
③	45022-XXD-K100	(1)
	PAD SET,FRONT(TYPE-C)	
④	06455-XXD-0000	1※
	SHIM SET,FRONT	
⑤	PAD SET,REAR(TYPE-S)	(1)
	43022-XXD-K200	
⑤	PAD SET,REAR(TYPE-C)	(1)
	43022-XXD-K300	
⑥	DISK SET, FRONT	1
	45450-XKPE-K1S0	
⑦	SPLASH GUARD,FR R	1
	45255-XKPE-0000	
⑧	SPLASH GUARD,FR L	1
	45256-XKPE-0000	
⑨	PIPE COMP,FR BRAKE R	1
	46335-XKPE-0000	
⑩	PIPE COMP,FR BRAKE L	1
	46336-XKPE-0000	
⑪	Hi-Perfomance Brake Fluid	2
	90000-XYB-B000	

※45000-XKPE-K0S0 は PAD SET, FRONT (TYPE-S)、PAD SET, REAR (TYPE-S)、SHIM SET, FRONT が付属。

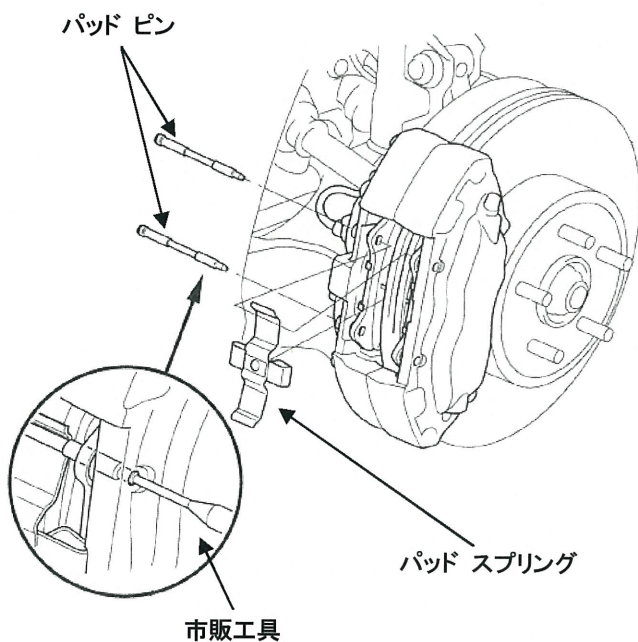
※45000-XKPE-K1S0 は PAD SET, FRONT (TYPE-C)、PAD SET, REAR (TYPE-C) が付属。SHIM SET, FRONT は PAD SET, FRONT (TYPE-C) には装着できない為、付属していない。

※ブレーキパッドについては互換性がある為、使用用途によってTYPE-SおよびTYPE-Cを選択することが可能です。その際は前後とも同タイプの使用を推奨致します。

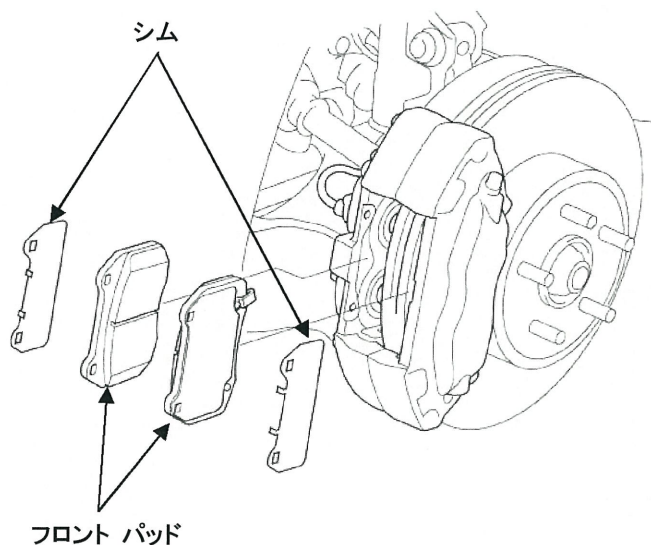
【純正パーツの取外し】

・フロント ブレーキ パッドの取外し

- ①サービスマニュアルに従って正しい位置でジャッキアップまたはリフトアップし、ジャッキアップの際はリジトラックを使用し、作業にあたって車両が安全な状態であることを確認する。
- ②ホイールを外し、関連部品の点検を行い異常がない事を確認する。
- ③フロント キャリパ上下2本のパッド ピンをピンポンチ等の市販工具で軽く打ち抜き、パッド スプリングを押しながらパッド ピンを取外す。

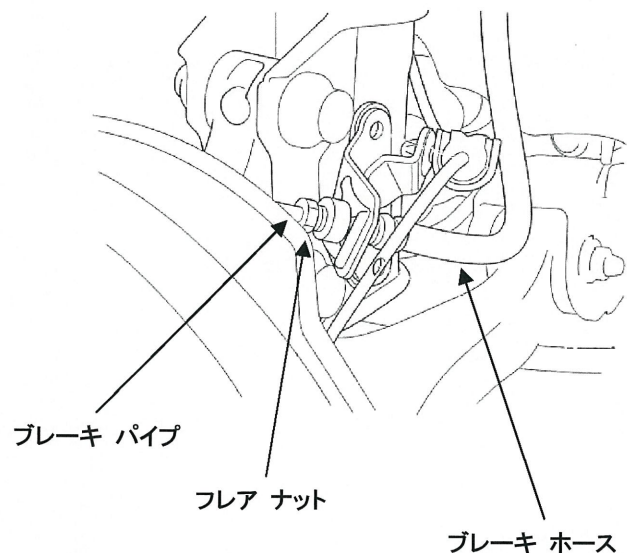
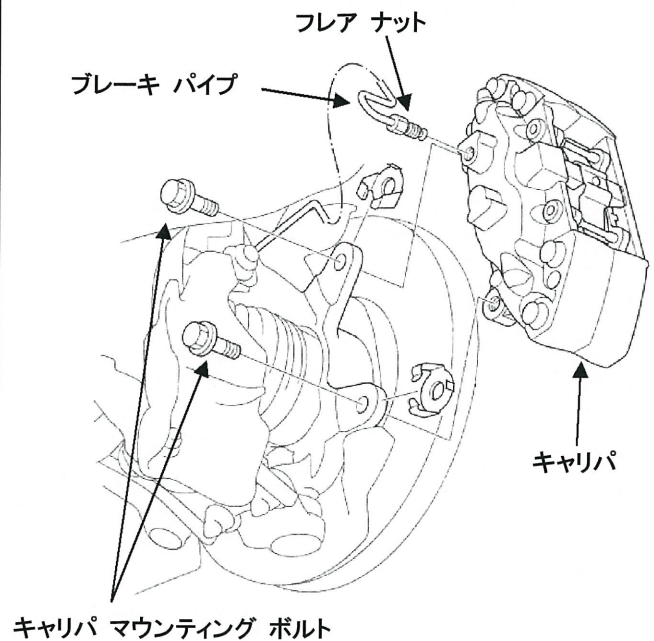


- ④パッド スプリングを取外す。
- ⑤キャリパからフロント パッドおよびシムを取外す。



・ブレーキ キャリパ及びブレーキ パイプの取外し

- ⑥フレア ナットを外し、キャリパとブレーキ パイプの接続及びブレーキ ホースとブレーキ パイプの接続を外す。
※ブレーキ フルードは、塗装面を傷めるため、部品類に付着させないこと。付着した場合は、すぐに水で洗い流すこと。
※ブレーキ パイプに傷をつけたり、大きく変形させないように注意して脱着すること。
※ブレーキ フルードの流出を防ぐため、接続を外したパイプのジョイント部を、栓などで塞いでおく。

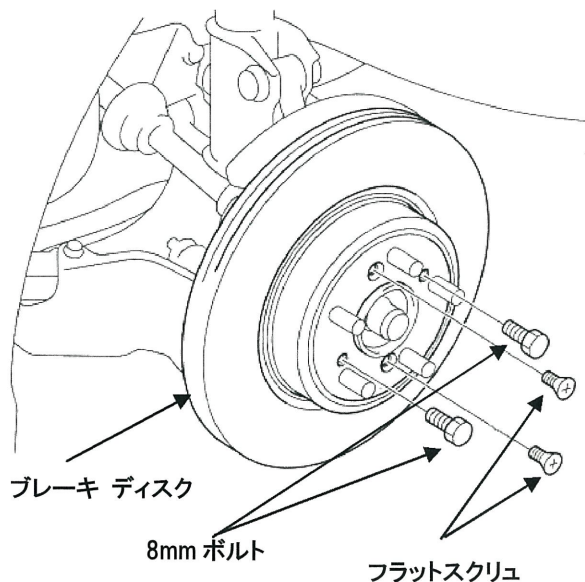


- ⑦キャリパとナックルを固定しているキャリパ マウンティング ボルトを外し、キャリパを取外す。

・ブレーキ ディスクの取外し

- ⑧ブレーキ ディスクからフラット スクリューを外し、ブレーキ ディスクを取外す。

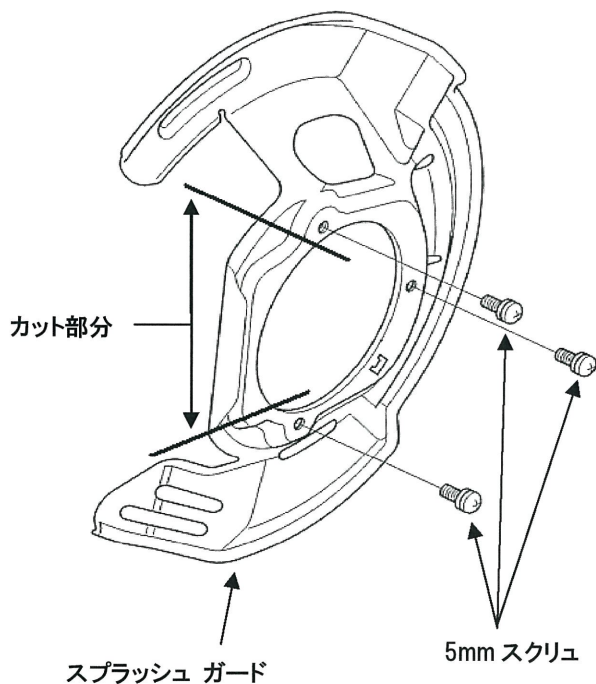
※ブレーキ ディスクが外しにくい場合は、8×1.25mm ボルト 2 本を 90° ずつ均一に締込み取外す。



・スプラッシュ ガードの取外し

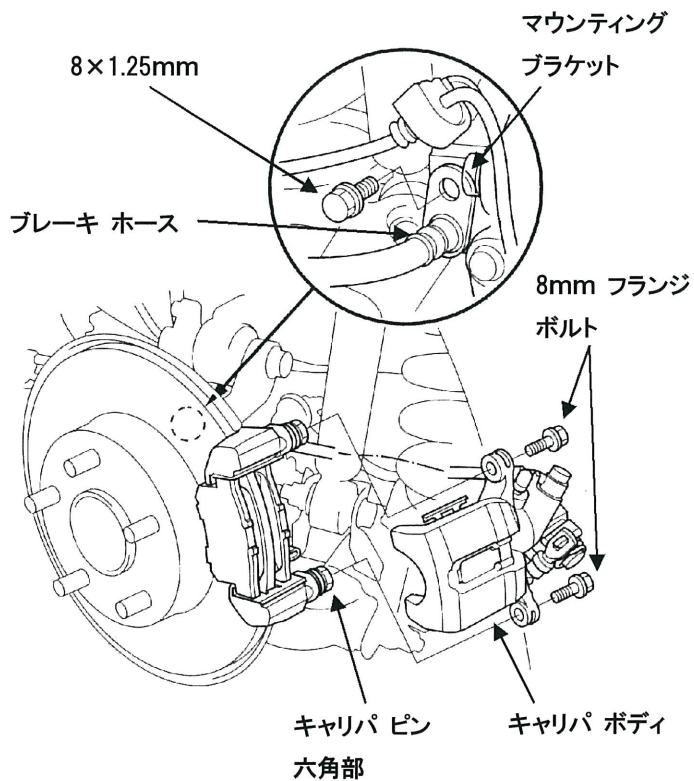
- ⑨スプラッシュ ガードから 5 mm スクリューを外す。また図のカット部分を金切バサミ・ニッパ等でカットし、ナックルからスプラッシュ ガードを取外す。

※カット時、ナックル等を傷付けないよう注意すること。
※カットした部分で手などを切らないよう十分注意すること。



・リア ブレーキ パッドの取外し

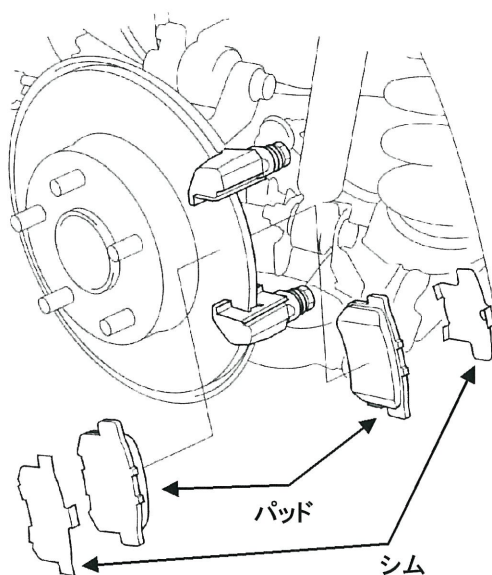
- ⑩パーキングブレーキを解除し、ブレーキ ホースをマウンティング ブラケットから外す。



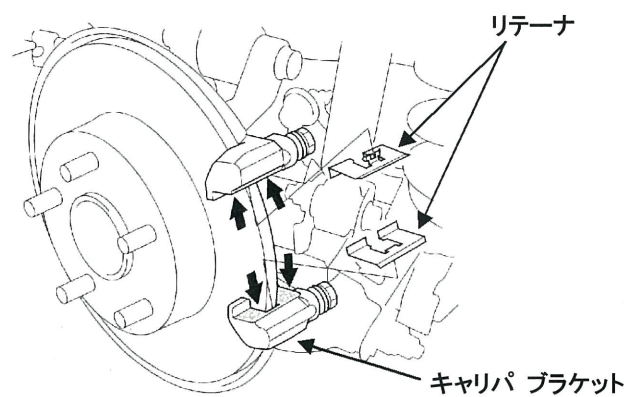
- ⑪キャリパ ピン六角部をレンチで保持して 8 mm フランジ ボルトを外し、キャリパ ボディをキャリパ ブラケットから取外す。

- ⑫キャリパ ボディを針金などで固定する。
※ブレーキ ホースでキャリパを吊らないこと。

- ⑬キャリパ ブラケットからパッドとシムを取外す。



- ⑭リテーナを取外し、キャリパ ブラケットとリテーナを清掃する。



- ⑮リテーナのブラケット接触面にグリースを塗布し、リテーナを取付ける。

※推奨グリース:モリコートM77グリース

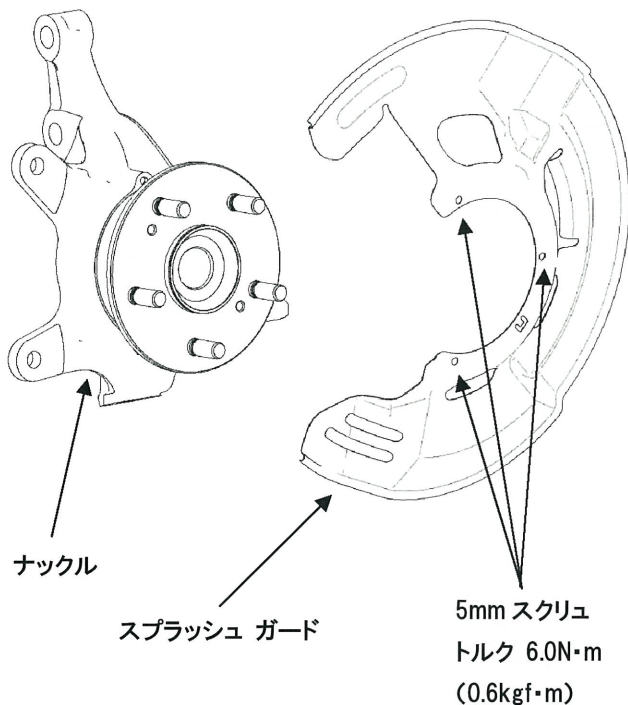
**※リテーナ装着時リテーナからグリースがはみ出たり
ブレーキ ディスクに油脂類を付着させないこと。**

【A・C・B・Sの取付け】

・スプラッシュ ガードの取付け

- ① 5 mm スクリュを使用し、無限スプラッシュ ガードを規定のトルクで締付ける。

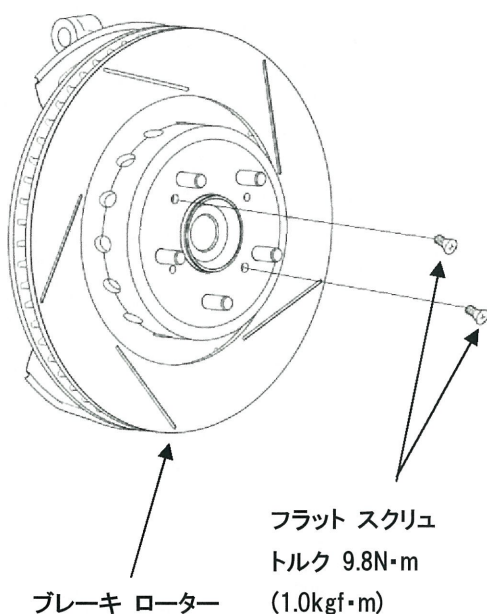
※左右を間違えないよう注意すること。



・ブレーキ ディスクの取付け

- ② 無限ブレーキ ローターを取外しと同じ要領で取付け、フラット スクリュを規定のトルクで締付ける。

※左右を間違えないよう注意すること。また、ブレーキ ディスク取付け時には、取付け面の錆・異物等を取除き、清掃してから取付けること。

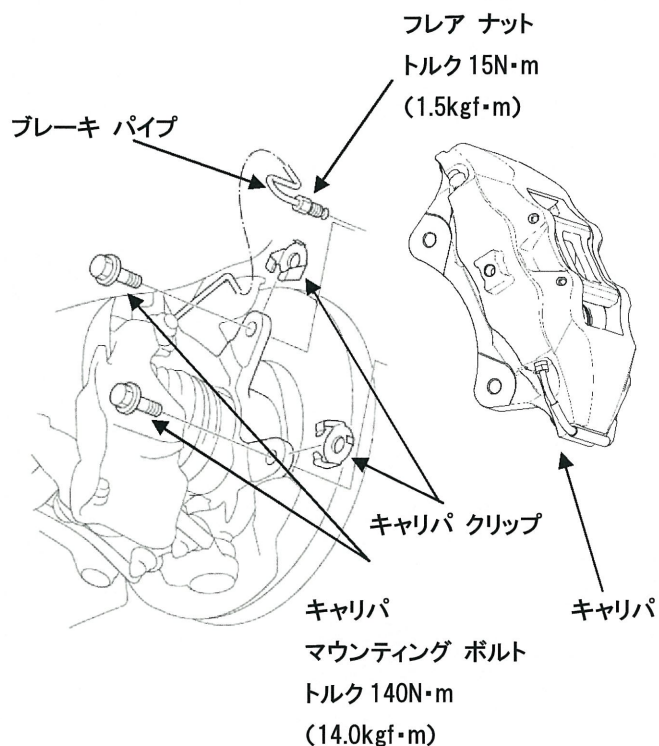


・ブレーキ キャリパの取付け

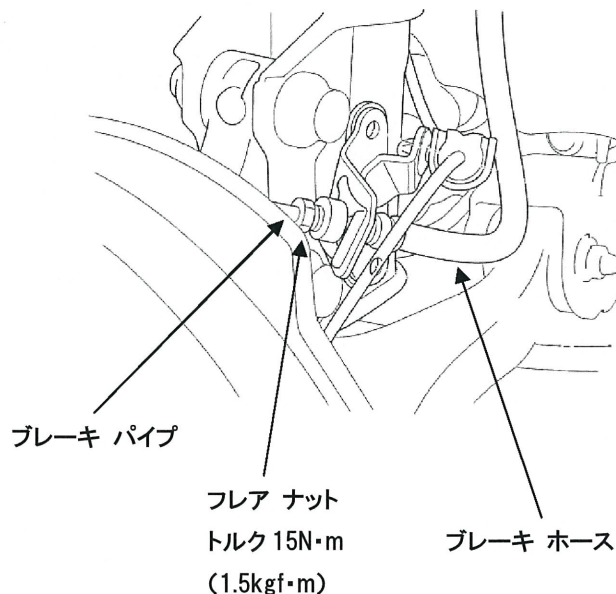
- ③ 無限キャリパ ボディをキャリパ マウンティング ボルトにより規定のトルクで締付ける。

※左右を間違えないよう注意すること。

※キャリパ クリップを忘れずに取り付けること。



- ④ フレア ナット レンチを使用し、付属のブレーキ パイプをキャリパ及びブレーキ ホースと接続し、規定のトルクで締付ける。

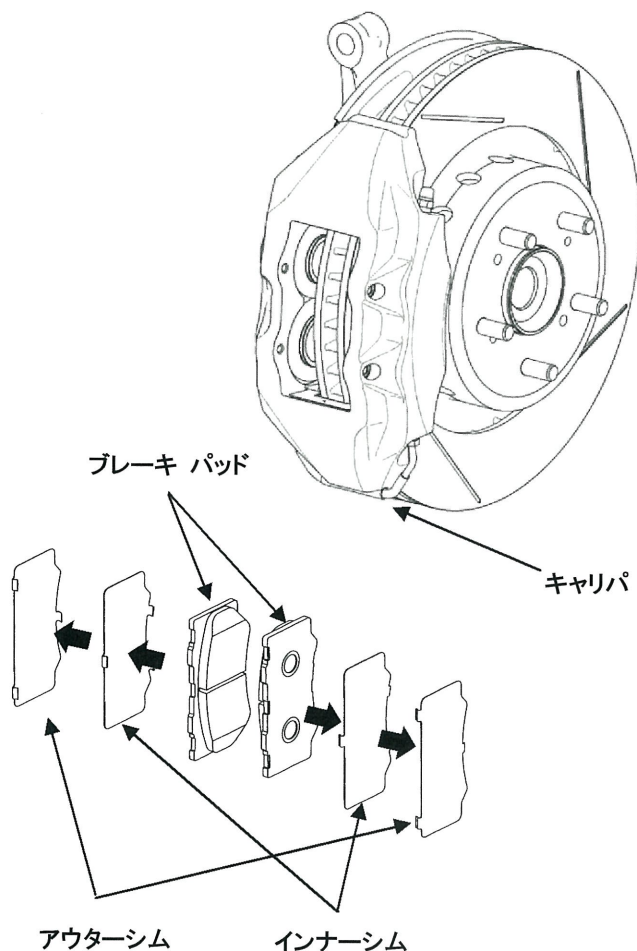


・フロント ブレーキ パッドの取付け

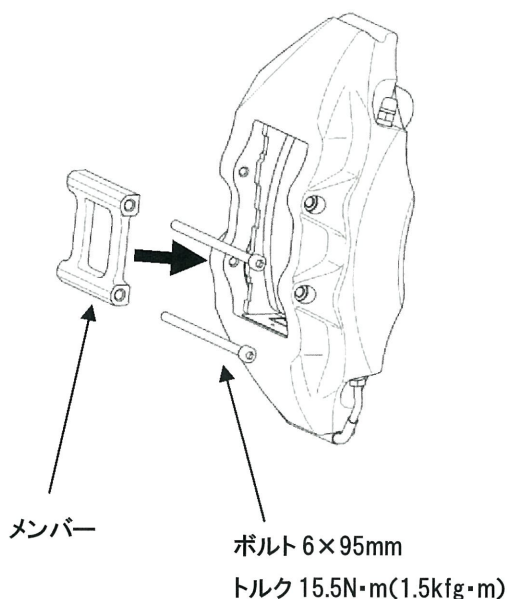
- ⑤無限フロント ブレーキ パッドをキャリパ ボディに取付ける。ブレーキパッドタイプ TYPE-S 取付け時はシムセットを付属のグリスを下図矢印部に塗布し、装着してから作業をすること。

※シム装着時はステンレス製のアウターシムがピストン面と接触するように取付けること。

※ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。



- ⑥メンバーを取付け、ボルトを規定のトルクで締付ける。



・リア ブレーキ パッドの取付け

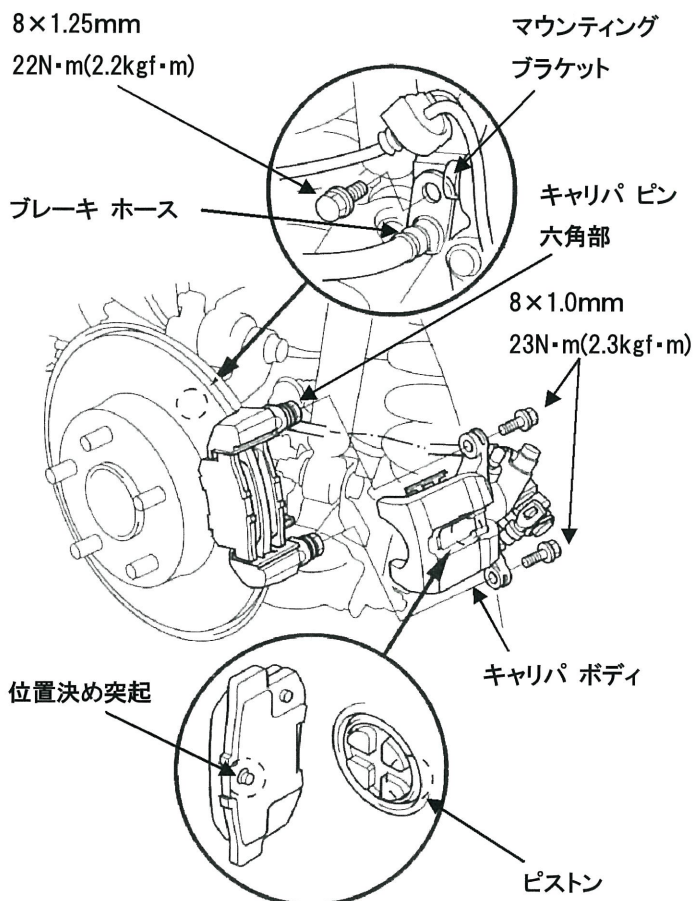
- ⑦サービスマニュアルに従ってシムと本製品にグリースを塗布し、パッドにシムを取付ける。

※シム装着時、パッドとシムからグリースがはみ出たり、ブレーキ ディスクに油脂類を付着させないこと。

- ⑧向きに注意してキャリパ ブラケットに本製品を取付ける。

- ⑨キャリパ ボディを清掃し、ピストンを回転させて押込む。

※マスタ シリンダのリザーバ タンク内のフルード容量に注意し、あふれないようにすること。



- ⑩キャリパ ボディを元の位置に戻し、キャリパ ピン 六角部をレンチで保持してフランジ ボルトを規定トルクで締付ける。

※ピストンの溝にインナ パッドの位置決め突起部が合うように取り付けること。

- ⑪ブレーキ ホースをマウンティング ブラケットに取付ける。

・取付け後の確認

- ⑫付属の無限ブレーキフルードを用いて、ブレーキフルードが入れ替わるまで交換およびエア抜きを4輪行う。

※ブレーキフルードがキャリパ ボディに付着しないよう注意すること。

- ⑬マスタ シリンダのリザーバ タンクのブレーキフルード量を点検する。

- ⑭ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないか点検する。

- ⑮ブレーキ ペダルをポンピングし、ペダルタッチがしっかりしていること、ブレーキの作動が問題無いことを確認し、サイドブレーキを引く。

- ⑯ホイールを取付け、車両を下ろしてホイール ナットを規定トルクで締付ける。

**※ホイール ナット締め付けトルク 108N・m
(11.0kgf・m)**

※取付け後は本書に記載の警告・注意事項に従って安全運転を心掛け、定期的に点検を行ってください。